

# むかしむかし 昔々の そお市

郷土を知る

社会教育課 文化財係 ☎ 099-482-5958

第5回

## 岩川の弥五郎どんに まつある色々

**岩**

川の弥五郎どんは神幸の先駆  
露払い、すなわち先導者を

現したもので身の丈4m85cmの風貌  
猛々しい姿です。その正体は大隅  
人の首領であるとか、天皇に仕えた  
武内宿禰であるとか様々な説があ  
ります。

時は遡り、和銅六年（七一三）、大  
隅隼人が朝廷（ヤマト王権）に征服  
され大隅国が設置されましたが、養  
老四年（七二〇）、隼人は朝廷の政策  
に反発し、大隅国守陽侯史麻呂を  
殺して反乱（今年は千三百年の節目  
の年）を起こします。朝廷は1年を  
越える戦いでようやく平定しました。

この時、隼人の戦死者が余りにも  
多く、宇佐八幡で慰霊のための放生  
会を行いました。これが弥五郎どん  
祭りの起源とも言われています。

また南九州では、神社の御神体が  
神輿に担がれて領域内を巡行するこ  
とを「浜下り」と称していますが、  
これは秋の豊年祭（ホゼ）に先立ち、  
神様が地域を清めて回る儀式と言わ  
れています。その際、神輿の先導に  
社人が大きな面を捧持する例が多い

ですが、これが時代と共に御霊信  
仰とも混交し、次第に偶像化・巨大  
化して、現在の弥五郎どんの姿に  
なっていたのではないかと考えら  
れています。

さて、弥五郎どん本体とその衣装  
は4年毎（閏年）に作り替えられま  
す。今年がその年で、これから保存  
会の製作部や、縫い子の皆さんによ  
る製作が始まります。

新型コロナウイルスの影響で今年  
の祭りは中止になりましたが、この  
機会に祭りを支える方々のことや由  
来や歴史に思いを巡らせるのもいい  
のではないのでしょうか。



昭和41年



昭和20年以前

### 探しています！

現在、弥五郎どんの古い写真を探していま  
す。未公開のもので、特に木製台車を使用し  
ている時代（昭和40年代以前）の写真があ  
りましたら是非、ご提供ください。

『岩川の弥五郎どん』は平成31年3月28  
日付けで『記録作成等の措置を講ずべき無  
形の民俗文化財』に選択されました。  
今年度から記録調査を行います。

